

“渦が森・環境の森”から 防災を考える

都市環境・緑化G 飯盛 秀穂

～～“渦が森・環境の森”から防災を考える～～

タイの大洪水

- ・日本の企業450社被害（7工業団地:810社中）
- ・サプライチェーンを通じて世界に大きな影響

- ・雨量:年平均の140%（タイ近代史上最大）
- ・地形:南北100km間の起伏10数m

- ・森林率:1961年=53%

1985年=28% 1,200万ha減少

外資獲得の為チーク材の乱伐

⇒自然林の商業伐採禁止(1989)

～～“渦が森・環境の森”から防災を考える～～

世界の森林

森林率：30%

1990年：40億ha ⇒ 2000年：39億ha
(毎年1000万ha消失)

<日本>

国土面積：3779万ha 林野面積：2486万ha 66%

森林の53%は天然林、41%が人工林、他は竹林や無立木地

戦後の人工林造成は1000万haで国土の1 / 4以上が人工林

放置人工林は下草が生えず、樹の根も浅く、雨でごっそり流れる

*** 世界の森林問題は「木を切りすぎ」、
日本は「木を切らなすぎ」**

白井裕子著「森林の崩壊」新潮新書

～～“渦が森・環境の森”から防災を考える～～

六甲山ははげ山・・・

「高知から蒸気船に乗って海路神戸へ向かった。

私は生まれて初めて蒸気船というものに乗った。

・・・私は瀬戸内海の海上から六甲山の禿山を

見てびっくりした。はじめは雪が積もっているの

かと思った。土佐の山に禿山などは一つもない

からであった。」

＜牧野富太郎選集Ⅰ＞

これは、後に高名な植物学者になる牧野富太郎が
明治14年(1881)、植物研究を志し高知から船で上京
する途中神戸港に入港、その時に見た六甲山の様子。

～～“渦が森・環境の森”から防災を考える～～

“渦が森・環境の森”活動

- ・国交省「六甲山系グリーンベルト整備事業」の一環
（市民・企業の協力で“里山”への修復活動）
- ・場所：神戸市灘区（高羽道の入り口）
- ・植生：全面ネザサ
- ・当面の活動内容
 - ネザサの伐採
 - 過去に植樹された樹木の保護

“渦が森・環境の森”活動を通して・・・

環境機能、文化機能の回復

砂防効果の発現

保水能力の確保

生物多様性の確保

生活環境の確保

景観形成

環境科員にとって・・・

調査・観察の場、環境教育の場、レクリエーションの場

社会貢献の場

～～“渦が森・環境の森”から防災を考える～～

森林のもつ機能の貨幣評価（／年）

地球温暖化の緩和・・・・	1兆2, 391億円
土砂災害防止機能・・・・	28兆2, 565億円
表層崩壊防止・・・・	8兆4, 421億円
洪水緩和・・・・	6兆4, 686億円
水資源貯留・・・・	8兆7, 407億円
水量調整・水質浄化・・・・	14兆6, 361億円
療養・保養・・・・	2兆2, 546億円

森林・林業白書(平成22年版) P42

お知らせ！

**“渦が森・環境の森”の整備活動を
来週31日(木)に行います。**

- **集 合：10:30 ハイキング道入り口**
- **(神戸市バス渦森台終点より2～3分上る)**
- **活動時間：10:30～14:30**
- **(午前のみ参加も歓迎)**
- **持ち物：弁当、飲料水・・・& カマ等**